

元中日ドラゴンズ投手の山本昌さんと ヘルメット着用等呼びかけ ～岐阜県警察と連携した交通安全啓発活動～

日本損害保険協会岐阜損保会（会長：西川 太郎 東京海上日動火災保険株式会社 岐阜支店長）では、岐阜県警察と連携し、2月14日（金）に交通安全啓発イベントを実施しました。

岐阜県は、人口10万人当たりの交通事故死者数が全国ワースト7位（令和6年中）であり、死者70名のうち、37名が夜間の事故で、全事故（67件）の53.7%を占めています。また、自転車の交通事故による負傷者457名のうち、103名が高校生となっており、通学時の事故が76.6%を占めています（令和6年中）。

この状況を改善すべく、岐阜県警察と連携した啓発活動を実施することとし、夜間外出時の反射材・自転車ヘルメットの着用を呼びかけるチラシおよび靴用反射シールを作成しました。

また、これらツールを用いて効果的な啓発を行うため、元中日ドラゴンズ投手の山本昌氏に協力いただき、2月14日（金）に岐阜市内で啓発イベント等を実施しました。

当日は、岐阜県警察本部で岐阜損保会から岐阜県警察への啓発チラシ贈呈式が開催され、西川損保会長から桂川交通部長へ啓発チラシパネルの贈呈がありました。続いて、山本氏への一日交通部長の委嘱式が行われ、桂川交通部長から山本氏へ委嘱状の授与がありました。

次に、岐阜市立岐阜商業高等学校で交通安全教室が開催され、高校生による自転車ヘルメットファッションショー、岐阜中警察署の伊藤交通第一課長からの講話、山本一日交通部長からのメッセージがありました。山本一日交通部長からは、受験生となる高校2年生に向けて「大きな努力は継続できない。小さな努力を習慣にしてコツコツ積み重ねていくことが大事。受験は人生の大きな変わり目で、勝負の年だと思って頑張ってもらいたい。」というメッセージがありました。

最後に、スーパーマーケットバロー鏡島店で来店者に啓発チラシおよび反射材を用いた啓発を行いました。山本一日交通部長から反射材を装着された来店者からは「暗い道を歩く時は山本さんに装着してもらった反射材をつけたい。」という声がありました。

当支部では、今後も岐阜県警察等と連携した交通事故防止に取り組んでいきます。



啓発チラシ贈呈式
（桂川交通部長（左）と西川損保会長）



一日交通部長を委嘱された山本氏（中央右）



市岐商でのヘルメットファッションショー



ヘルメットの重要性を訴える
山本一日交通部長



バロー鏡島店で来店者に反射材を装着



啓発チラシ

